

学校法人北里研究所報

第170号

北里研究所旧本館（博物館明治村）

目次

■ トピックス.....(2)	• 第3号評議員（学校長）の選任.....(21)
• ローベルト・コッホ先生命日献花式を執り行いました	• 第4号評議員（教授会）の選任.....(21)
• 「BCAOアワード2023」優秀実践賞を受賞しました	• 第5号評議員（職員）の選任.....(21)
■ 2023年度学校法人北里研究所事業業績.....(3)	• 第6号評議員（卒業生）の選任.....(21)
■ 2023年度学校法人北里研究所総合事業計画に対する 自己点検・評価.....(7)	• 第7号評議員（父母）の選任.....(22)
■ 2023年度学校法人北里研究所収支決算の概要.....(9)	• 2024年度事業計画の追加.....(22)
■ 2024年各種国家試験結果.....(19)	• 北里大学メディカルセンターの組織変更及び設置規程の改正.....(22)
■ 各種会議報告	• 人事.....(22)
《5月理事会承認》	大学教育職の昇任
• 評議員（第6号）の交代.....(20)	• 大村智記念研究所寄附講座「花王環境衛生科学講座（花王）」 の設置期間の更新.....(22)
• 次期学長の選任.....(20)	• 2024年度資産運用計画の概要.....(22)
• 次期学部長の任用.....(20)	《5月学部長会了承》
• 次期研究科長等の任用.....(20)	• 北里大学教職課程センター構成員の交代.....(22)
• 次期一般教育部長の任用.....(20)	• 教学系各種委員会委員の交代等.....(23)
• 次期北里大学図書館長の任用.....(20)	■ 受賞.....(23)
• 次期大村智記念研究所長の任用.....(20)	• 「BCAOアワード2023」優秀実践賞受賞
• 次期病院長の任用.....(20)	■ 博物館に相当する施設の指定.....(23)
• 次期北里大学看護専門学校長の任用.....(20)	■ イベント.....(23)
• 第1号理事（学長）の選任.....(21)	• 2024年度第1回北里大学薬学部生涯学習オンラインセミナー
• 第2号理事（学部長及び大村智記念研究所長）の選任.....(21)	• 第37回北里大学バイオサイエンスフォーラム
• 第3号理事（病院長）の選任.....(21)	■ CO ₂ 排出量と光熱水費（2024年4月）.....(25)
• 第2号評議員（学長）の選任.....(21)	■ 行事予定表（2024年7月・8月・9月）.....(別紙)

建学の精神

- 開拓 一事を成してパイオニアたれー
科学の世界ではパイオニアとなり、独創性に富んだアイデアを持つ。
- 報恩 一人に交わって恩を思えー
自分を育ててくれた人と社会に感謝し、社会に貢献することで、恩に報いる。
- 叡智と実践 一そして叡智をもって実学の人としてー
学んで得た知識と技術を実践の場に活かし、社会に還元する。
- 不撓不屈 一不撓不屈の精神を貫けー
そのためには、いかなる困難にも屈することなく、果敢にチャレンジする。



トピックス

ローベルト・コッホ先生命日献花式を執り行いました

1910年5月27日、北里柴三郎博士が生涯の師と仰いだローベルト・コッホ先生は、66歳で生涯を閉じました。ベルリン大学の教授であったコッホ先生のもとで細菌学を学んだ北里博士は、ドイツ留学から帰国後も報恩の念を忘れず、翌年1911年に、当時所長を務めていた白金台の国立伝染病研究所内に祠を建立し、御霊を奉納しました。その後、祠は北里研究所（白金）に遷座され、戦後に北里祠を合祀し、現在のコッホ・北里神社となりました。

北里研究所は、恩師を偲ぶ北里博士の遺志を引き継ぎ、5月27日(月)、ローベルト・コッホ先生命日献花式を執り行いました。はじめに、小林弘祐理事長が祠前に献花し、二礼二拍手一礼で参拝しました。続いて、大村智相談役・北里大学特別栄誉教授の献花の後、鳥袋香子学長以下、参列した常任理事・常任監事の先生方が、コッホ・北里神社を参拝しました。

ローベルト・コッホ (Robert Koch, 1843年12月11日生)：ドイツの医師、細菌学者。炭そ菌、結核菌、コレラ菌を発見。細菌の染色法、培養方法を考案・発展させ、病原細菌学という新しい分野を確立。1905年、結核の研究でノーベル生理学・医学賞を受賞。



「BCAOアワード2023」優秀実践賞を受賞しました

事業継続の普及や実践に貢献した個人・団体を表彰する、特定非営利活動法人事業継続機構の「BCAOアワード2023」で、学校法人北里研究所における危機対応力や事業継続力の強化への取り組みが評価され、「事業継続部門 優秀実践賞」を受賞しました。このアワードは2006年度に創設されたもので、今回が18回目の表彰です。

表彰式は、5月27日に、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）で開催され、本法人が実践している事業継続の取り組み内容について、受賞者発表を行いました。



2023年度学校法人北里研究所事業業績

はじめに -2023年度を振り返って-

2023年度は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続く中、さらには、イスラム組織ハマスの攻撃を受けたイスラエルがパレスチナ自治区ガザ地区へ侵攻するなど、新たな武力衝突が世界を震撼させました。さらに自然災害では、トルコ・シリア地震やハワイでの大規模な山林火災が発生し、我が国では2024年1月1日に発生した能登半島地震によって大規模災害に見舞われました。

また、これまで世界規模で猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症は、ワクチン等の普及により2023年5月に5類感染症へと移行され、徐々にコロナ禍前の様相を取り戻し、本学では2018年度以来、4年ぶりに学位記授与式への保証人参列が叶いました。一方で、新型コロナウイルス感染症は社会全体に変革を促し、本法人においてもICTの利用環境整備が進み、AIの利活用やデジタル化を推進することができました。これによって2020年2月26日付で設置された「新型コロナウイルス感染症危機対策本部」は、2023年12月8日をもって解散となりました。通算44回開催された対策本部会議は、法人の事業継続、学生の教育継続を第一義に対応してきましたが、今後はこれらの経験を活かして、北里大学初期対応計画ERP（パンデミック編）、北里大学事業継続計画BCP（パンデミック編）に基づき行動することとなります。教職員が一丸となり新型コロナウイルス感染症に立ち向かうことができましたことは、ご尽力いただきました関係者の方々に感謝申し上げます。

さて、本法人にとって2023年度は、第21期理事会の4年目であり、第22期理事会への橋渡しとなる重要な年度でありましたが、第21期理事会ミッションを念頭に置き、各部門の協力の下に各種事業計画に取組み、事業業績評価一覧に記載のとおり、一定の成果をあげることができました。その中でも、次世代の人材育成の一環として設置した将来構想（U40）検討委員会から、2024年3月に提出された中長期計画に関する答申書は、第22期理事会の中期計画等の策定へとつながる大きな成果であったと期待しています。

1. 教育・研究体制の充実

ハード面においては、相模原キャンパスの看護学部及び未来工学部の新校舎は予定どおり竣工し、熱源設備及びインフラの更新・整備も着実に進捗しています。医学部新校舎については工期の遅延が生じ、関係各所の協力のもと適宜対応を行っています。県道52号の拡幅整備にあわせた拡幅沿道部の外構整備計画についても、具体化に向けた学内の合意形成や詳細設計の構築を目指します。

ソフト面においては、国際化、新大学図書館構想、内部質保証システム等を中心に推進しました。国際化については、国際チーム医療演習において初めての試みとして海外大学から教員（6か国7大学）を招き、同演習の在り方等について意見交換を行い、今後の改善方策を検討しました。新大学図書館については、2022年度に設置された「北里大学図書館事務組織検討委員会」からの提案を受け、2025年度の新図書館完成を見据え、2024年4月から「大学図書館事務室」を教学本部に属する体制へ組織変更を行いました。引き続き諸課題の解決に向け鋭意取組み、中央図書館の役割を担う体制を構築します。また、内部質保証システムの推進では、大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審するため各種取組を行い、2024年3月に「適合」の評価を受けることができました。

2. 病院群の経営改革

病院群では、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、通常診療体制に戻った1年となりました。2022年度に設置した病院群共同購入推進部会については、2023年度も引き続き積極的に開催され、医療材料の共通化・共同購入による経費削減・医療機器の価格交渉等により大幅な経費削減を達成しています。また、2024年4月1日施行の改正労働基準法へ対応するため、3病院合同の「病院群医師の働き方改革検討委員会」を設置し、変形労働時間制への移行や医師の勤怠システム導入など様々な諸課題に取り組んできました。3病院にはそれぞれの特徴や地域性、医療ニーズがあるため、具体的な取組は各病院で行うこととなりますが、スケールメリットを最大限活かし、引き続き収支改善に向け3病院と法人が一体となり各種取組を推進していきます。

3. 次世代の人材育成

事務職員の育成方針・育成カリキュラムの策定については、総合職を中心とした現状の人事制度の課題・問題点を抽出検討してきました。2023年度はワーキンググループを設置し、職員の意見を参考に研修の年間年次

計画及び実施内容を検討しています。事務職員には、本法人の諸課題を解決し事業活動を遂行するうえでの不断の強い経営意思を理解しながら業務に取り組む姿勢が必要となります。今後予想されるさらなる人材不足、法人を取り巻く環境の変化に対応するため、また、優秀な人材を獲得するために人材育成は喫緊かつ永続的な課題です。職員の声を吸い上げるとともに、社会の動向にも注視し、教職員自らが成長したいと思える環境を提供できるよう推進していきます。

4. 法人運営の基盤整備

経営系IRとして掲げた人材リソースの活用については、RPA（Robotic Process Automation）研修を実施し、業務の効率化に向けて、引き続き、生成AIの利活用を含む教職員のPCスキル向上などの諸課題に取り組んでいます。RPA研修では、対象者への研修を実施し、業務の中で何をソフトウェアロボットが代行・自動化できるのかを検討・実証し、将来構想（U40）検討委員会中間キャンプにおいてその成果を発表しました。RPAツールの有用性を確認することができたものの、業務のペーパーレス化・デジタル化推進や、生成AIの利活用等を含む教職員のPCスキル向上などの課題が明らかとなったため、RPA推進と並行して課題解決に取り組み、業務効率化を図っていきます。また、コストマネジメントの一環として購買システムの更新を行い、2023年4月から新システムが稼働しました。これにより購買データの収集、統計情報の分析が可能となり、その結果を単価契約や価格交渉に活用することで、コスト削減への有効性が期待されます。さらには、購買システムにおける電子カタログ購買連携業者の拡大や、MRPベンチマークシステム等を活用したさらなる医療材料等のコスト削減を目指します。

5. ICT化の推進

全キャンパスを統一したデジタル通話・通信環境とする基本方針に基づいて、北本キャンパスの北里メディカルセンターへはPBX更新及び内線化されたスマートフォンの導入を、相模原キャンパスの看護学部及び未来工学部へは新校舎建設に併せてPBX及びIP電話の導入を実施しました。また、相模原キャンパス、十和田キャンパス、新潟キャンパスの各キャンパスへは無線LANを中心としたネットワークの再設計を行い、法人全体のネットワークの強化計画を推進しています。業務系システムについては、教学システム、財務システムのクラウドプラットフォーム化を実施し、証明書発行システム、人事給与・就労システムについても検討を開始しました。引き続き、クラウド化による刷新を進めていきます。また、ICT技術を活用した業務プロセス改革として、全学共通のスケジューラーの導入を実施し、業務の効率化、デジタル化を進めることができました。

一方で、本学ではセキュリティ対策が大きな課題であることから、2023年度は教職員・学生のセキュリティ意識向上を目指しセキュリティ教育を開始、訓練メールによるセキュリティトレーニングを実施しました。また、3病院のランサムウェア対策についても病院情報システムの基幹部分への対策を実施し、さらなる強化策として「病院群サイバー攻撃対策バックアップ統合環境の構築」を取りまとめるなど、対応を進めています。今後は、本法人全体でセキュリティを検討する体制の構築を目指し、さらなるセキュリティ対策を進めていきます。

6. 治験・知財の活用

2022年度に続き、特許庁事業である知財戦略デザイナーの派遣を受け、知財発掘のための研究者訪問を積極的に行い、一定の成果を上げています。また、知的財産ポリシーに掲げる「組織体制：知的財産戦略・事業化に精通した人材を養成・獲得」について、特許庁における審判長等の経験を有する特別専門職（弁理士）の採用により、知的財産マネジメント体制は格段に向上しました。今後はさらなる体制強化に向けて関係部署と対応を進めていきます。また、各病院において医療ニーズの収集を開始し、東京都医工連携HUB機構の協力を得て「北里大学医療ニーズマッチング交流会」を開催し、産業界との交流の仕組みを構築するなど、産学官連携体制を創出するための基盤ができたと考えています。

7. 危機管理・コンプライアンスの強化

2021年度に策定したBCP関連文書に基づき、教学系・法人系本部のボトルネックリソースへの対応策の見直しを行うとともに、BCP訓練の対象を教学系本部にも広げ、白金キャンパスと相模原キャンパスの同時被災を想定した教学系本部と法人系本部の合同訓練を実施し、BCPの周知及び意識の醸成を図ることができました。また、これまでの取組みを基に、2023年11月30日付で一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会の国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）を取得しました。なお、引き続き、十和田キャンパス、新潟キャンパス、北本キャンパスのBCP策定を目指します。

8. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行しましたが、平時の研究対象として引き続き研究を継続しています。AMED採択案件については、多数のイベルメクチン誘導体を合成・評価し活性の強い誘導体を見出すことに成功しました。厚生労働省補助金により実施した新型コロナウイルス環境調査に基づいた論文の発表や、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と治療の世界的動向」と題した総説を発表しました。なお、東京都との「新型コロナウイルス感染症対策に関する連携協定」に基づいた調査・研究の実施は一定の成果を上げ、2023年度で終了することとなりました。

9. 特別施策 法人運営の根幹の強化

大学院未来工学研究科修士課程及び健康科学部の2024年4月開設を無事行うことができました。引き続き、大学院未来工学研究科への博士後期課程の2026年度設置を目指します。また、2023年度に採択された、「大学・高専機能強化支援事業」に基づき、2025年度の獣医学部グリーン環境創成科学科の設置を目指しています。

法人のブランディングでは、北里ブランドマークを策定し、使用許可申請方法や使用ガイドラインを定めるとともに、共通テンプレートを公開するなどして浸透・利用促進を図っています。

附属中学校・高等学校設置の検討は2023年度に具体化し、学校法人順天学園（順天中学校・高等学校）と相互理解を深めながら、本法人を存続法人とする吸収合併の実現に向けて関係構築を進め、2026年4月1日付の合併を目指した基本合意書を2023年11月27日付で締結しました。両法人の設置校間における教育連携を深めることにより、中学校・高等学校から大学・大学院教育まで一貫した教育環境を提供し、生徒・学生が将来を見据えながら選択できる進路の幅を広げるとともに、長期的な視点に立って優れた人材を育成・輩出することを目指し、相互作用（シナジー効果）を生む合併を実現していきます。

北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年記念事業の推進においては、未来工学部開設記念式典（2023年4月1日）及び新日本銀行券発行記念フォーラム^{110×60}（第1回：2023年6月13日、第2回：2023年11月5日）を開催し、多くのご来賓の方々にご参加いただき、盛会となりました。2024年度は学祖北里柴三郎博士を肖像画とした新千円札の発行も併せて、2024年7月21日に北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年／新日本銀行券発行記念式典を執り行う予定です。

〔特記事項〕

1. 大学院未来工学研究科(修士課程)設置認可

研究科名称：未来工学研究科（修士課程）生命データサイエンス専攻

英文名称：Graduate School of Frontier Engineering
Division of Biomedical Data Science

入学定員：1学年10人（収容定員20人）

取得学位：修士（工学）

開設年度：2024年4月1日

2. 健康科学部設置届出

学部名称：健康科学部

英文名称：School of Health Sciences

入学定員：看護学科 1学年80人（収容定員320人）

医療検査学科 1学年80人（収容定員320人）

取得学位：学士（看護学／医療検査学）

開設年度：2024年4月1日

3. 新型コロナウイルス感染症への対応(2020年度から継続)

◆新型コロナウイルス感染症危機対策本部会議

日常の感染症対策や学生・教職員の行動制限、法人・学事行事への対応等について迅速な意思決定を行いました。

2020年2月26日付設置

2019年度…4回

2020年度…17回

2021年度…13回

2022年度…8回

2023年度…2回

2023年12月8日付解散

※新型コロナウイルス感染症危機対策本部の諮問機関として、新型コロナウイルス感染症対策ワーキンググループを随時開催

4. 教育・研究・診療施設・環境の整備

〔相模原キャンパス〕

◆看護学部新N号館新築工事（構造・階数：鉄骨造5階建て／延床面積：7,108.68㎡）

工 期：2022年9月～2024年3月

工事概要：医療系教育のHUBであるIPE棟に隣接する位置に看護学部新校舎の建設を行い、大学病院との連携に課題を抱えていた旧校舎からの移転を完了しました。

◆未来工学部FR号館新築工事（構造・階数：鉄骨造5階建て／延床面積：6,764.46㎡）

工 期：2023年1月～2024年2月

工事概要：新設学部として2023年4月に発足した未来工学部の校舎を、医療衛生学部A1号館北側に新築しました。

〔新潟キャンパス〕

◆健康科学部設置に向けた改修工事

工 期：2023年8月～2024年3月

工事概要：健康科学部の設置に向けて、保健衛生専門学院の校舎を大学校舎としてリニューアルするため、講義室・研究室・教員室・トイレ及び一部外観等の改修・修繕工事、教育研究機器・ICT機器の更新等を実施しました。

2023年度学校法人北里研究所総合事業計画に対する自己点検・評価

《評価の基準》

区分	指 標	
	(+ 設定水準をやや上回っている - 設定水準をやや下回っている)	
A	目標が十分に達成された。	達成度合い (高)
	[評価の視点] ・計画を推進し十分な成果が見られた。など	
B	目標がおおむね達成された。	
	[評価の視点] ・計画を推進し成果が見られたが、課題が残っている。など	
C	目標の達成が不十分であった。	達成度合い (低)
	[評価の視点] ・計画を推進したが、成果が見られなかった。など	
D	目標が達成されなかった。	
	[評価の視点] ・計画を何も推進しなかった。など	

※計画を中止又は次年度以降へ繰り延べた場合は『評価対象外』とする。

2023年度総合事業計画及び事業業績 評価一覧

項 目	評 価	担当部署
1. 教育・研究体制の充実		
(1) 国際化の推進	A	国際部 (学事企画部)
(2) キャンパス整備の推進		
①相模原キャンパス校舎建替え計画の推進	B	管財部
②東病院跡地利用検討の継続	評価対象外	管財部
③十和田キャンパス校舎耐震化率100%	A	管財部
(3) 大学図書館構想の推進	B	大学図書館
(4) 収容定員の適正な管理	B	学事企画部
(5) 内部質保証システムの推進	A	点検・評価室
2. 病院群の経営改革		
(1) 3病院の経営改革		
①医療の標準化の推進	※	各病院
②医療機器・医療材料の共通化と共同購入の推進	A	病院群運営協議会
③適切な経営管理指標の設定、その実施とPDCAサイクルによる経営の向上	C	病院群運営協議会
(2) 医療連携の推進	※	各病院
(3) 病院人事の改革		
①全体最適の観点からの3病院人事の課題整理及びその解決方策の検討	C	病院群運営協議会
②医師の働き方改革の推進に向けた取組	A	病院群運営協議会

項 目	評 価	担当部署
3. 次世代の人材育成		
(1) 事務職員の育成方針・育成カリキュラムの策定	B	人事部
(2) 事務職員の採用・配置	B	人事部
(3) 生涯学習とキャリアアップ	B	人事部
4. 法人運営の基盤整備		
(1) 募金活動の充実		
①募金体制の強化	C	総務部
(2) 事務組織の在り方検討		
①経営戦略企画室の充実	B	経営戦略企画室
(3) コストマネジメントの確立	B	管財部
5. ICT化の推進		
(1) ICT化の推進に向けた取組		
①クラウド時代に合わせたネットワークの強化	C	ICT推進センター
②クラウドプラットフォームの環境整備	B	ICT推進センター
③サイバー攻撃に対応するセキュリティ対策の強化	C	ICT推進センター
④ICT活用によるコミュニケーションの活性化(統一したコミュニケーションツールの導入)	B	ICT推進センター
⑤ICT活用による業務の効率化(業務プロセスの改革)	B	ICT推進センター
6. 治験・知財の活用		
(1) 知的財産マネジメント及び治験・臨床研究体制の強化		
①-1知的財産マネジメントの推進(知的資産マネジメント体制の強化に向けた取組)	A-	知財・研究推進部
①-2知的財産マネジメントの推進(産学官連携体制の整備に向けた取組)	A-	知財・研究推進部
②治験・臨床研究体制の強化	C+	臨床研究・治験信頼性保証室
7. 危機管理・コンプライアンスの強化		
(1) 危機管理の強化と組織防衛	A	総務部
8. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応		
(1) COVID-19対策北里プロジェクトの推進	A	大村智記念研究所
特別施策 法人運営の根幹の強化		
(1) 寄附行為・寄附行為施行細則の精緻化等		
①寄附行為・寄附行為施行細則等、関連諸規程の改正	A	法務部
(2) 新分野・新学部構想の推進	A	学事企画部
(3) 法人・大学のブランディングの推進	A	総務部
(4) 北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年記念事業の推進	A	総務部
(5) 附属中学校・高等学校設置構想の推進	A	経営戦略企画室

※各部門事業計画で評価

2023年度学校法人北里研究所収支決算の概要

2023年度の決算について、私立学校法に則り、財産目録、貸借対照表及び収支計算書を作成し（第47条）、監事の監査を受けて（第37条）、2024年5月25日に評議員会に対して報告し意見を聴取しました（第46条）。監査報告書と併せて公表するとともに（第63条の2）決算の概要を説明いたします。 ※（ ）内は該当条文を示しています。

（1）事業活動収支決算の概要

2023年度決算における事業活動収支は、教育活動及び財務活動による経常的な収支の結果を示す経常収支差額〔G〕が31億円の支出超過となりました。これに資産売却や処分等の臨時的に発生した特別収支を加えた基本金組入前当年度収支差額〔L〕は、39億円の支出超過となり、基本金組入前当年度収支差額比率（〔L〕／〔R〕）はグラフ2《事業活動収入に対する事業活動支出の構成》で示すとおり△3.7%となりました。なお、資産処分差額10億円及び収益事業会計からの特別繰入0.2億円などが含まれています。

また、事業活動収支の均衡状態を示す当年度収支差額〔N〕は140億円の支出超過となり、前年度繰越収支差額〔O〕△182億円と基本金取崩額〔P〕0円を加算し、翌年度繰越収支差額〔Q〕は321億円の支出超過となりました。

1）事業活動収支計算書（法人総括）

（単位：千円）

		科目	2023年度決算額①	2022年度決算額②	増減（①－②）
教育活動収支	事業活動収入の部	1 学生生徒等納付金	19,147,492	19,057,777	89,715
		2 手数料	505,329	516,108	▲10,779
		3 寄付金	653,788	613,776	40,012
		4 経常費等補助金	5,407,889	11,370,611	▲5,962,722
		5 付随事業収入	4,204,594	4,891,062	▲686,468
		6 医療収入	72,774,917	69,408,123	3,366,794
		7 雑収入	2,137,961	1,932,638	205,323
		[A] 教育活動収入計	104,831,969	107,790,095	▲2,958,126
	事業活動支出の部	1 人件費	49,166,957	49,010,808	156,149
		2 教育研究経費	55,825,831	53,083,399	2,742,432
3（医療経費）		(29,933,358)	(27,272,608)	2,660,750	
4 管理経費		4,150,269	3,676,233	474,036	
5 徴収不能額等		131,439	31,224	100,215	
	[B] 教育活動支出計	109,274,496	105,801,664	3,472,832	
	[C] 教育活動収支差額（〔A〕－〔B〕）	▲4,442,527	1,988,431	▲6,430,958	
教育活動外収支	収入の部	1 受取利息・配当金	1,249,562	1,308,044	▲58,482
		2 その他の教育活動外収入	210,080	18,125	191,955
		[D] 教育活動外収入計	1,459,642	1,326,169	133,473
	支出の部	1 借入金等利息	84,564	94,564	▲10,000
		2 その他の教育活動外支出	0	0	0
		[E] 教育活動外支出計	84,564	94,564	▲10,000
	[F] 教育活動外収支差額（〔D〕－〔E〕）	1,375,078	1,231,605	143,473	
	[G] 経常収支差額（〔C〕＋〔F〕）	▲3,067,450	3,220,036	▲6,287,486	

科 目		2023年度決算額①	2022年度決算額②	増 減 (①-②)
特別収支	収入の部			
	1 資産売却差額	8,000	0	8,000
	2 その他の特別収入	256,966	304,444	▲47,478
	[H] 特別収入計	264,966	304,444	▲39,478
	支出の部			
	1 資産処分差額	1,029,385	2,460,192	▲1,430,807
	2 その他の特別支出	64,342	11,373	52,969
	[I] 特別支出計	1,093,727	2,471,565	▲1,377,838
	[J] 特別収支差額([H] - [I])	▲828,762	▲2,167,120	1,338,358
	[K] [予 備 費]			0
[L] 基本金組入前当年度収支差額([G]+[J]-[K])	▲3,896,211	1,052,915	▲4,949,126	
[M] 基本金組入額合計	▲10,064,258	▲1,515,282	▲8,548,976	
[N] 当年度収支差額	▲13,960,469	▲462,367	▲13,498,102	
[O] 前年度繰越収支差額	▲18,169,268	▲17,706,901	▲462,367	
[P] 基本金取崩額	0	0	0	
[Q] 翌年度繰越収支差額([N]+[O]+[P])	▲32,129,737	▲18,169,268	▲13,960,469	

(参考)

[R] 事業活動収入計([A]+[D]+[H])	106,556,577	109,420,708	▲2,864,131
[S] 事業活動支出計([B]+[E]+[I]+[K])	110,452,788	108,367,793	2,084,995

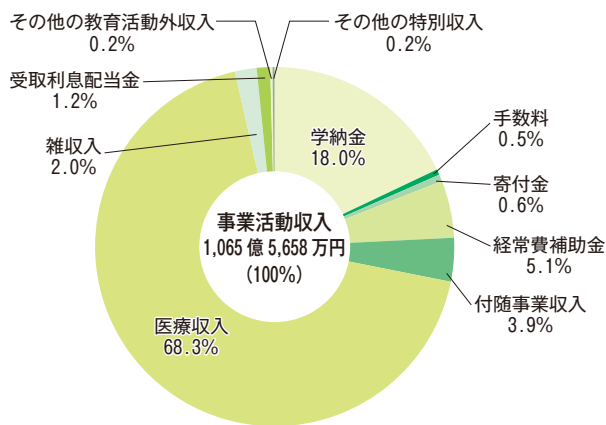
(注) 1. 決算額は千円未満四捨五入したものである。

2. 事業活動支出の部 [3 (医療経費)] は、[2 教育研究経費] の内数である。

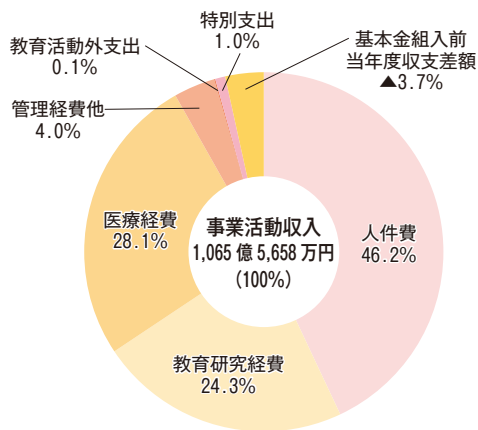
2) 事業活動収入・事業活動支出の構成比率

(単位：千円)

《事業活動収入の構成》



《事業活動収入に対する事業活動支出の構成》



(2) 資金収支決算の概要

2023年度決算における収入の部では、学生生徒等納付金収入191億円、寄付金収入6億円、補助金収入55億円、付随事業・収益事業収入42億円、医療収入728億円など収入合計〔A〕は1,157億円となり、これに前年度から繰越した支払資金〔B〕270億円を加え、収入の部合計は1,427億円となりました。

一方、支出の部では、人件費支出486億円、教育研究経費支出489億円、施設関係支出99億円、設備関係支出32億円、資産運用支出（減価償却引当特定資産の積立等）216億円などの支出により、合計1,346億円となり、2023年度の支払資金〔D〕として81億円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

1) 資金収支計算書（法人総括）

（単位：千円）

	科 目	2023年度決算額①	2022年度決算額②	増 減 (①-②)
収 入 の 部	1 学生生徒等納付金収入	19,147,492	19,057,777	89,715
	2 手数料収入	505,329	516,108	▲10,779
	3 寄付金収入	630,852	595,085	35,767
	4 補助金収入	5,549,273	11,509,229	▲5,959,956
	5 資産売却収入	12,000	1,179	10,821
	6 付随事業・収益事業収入	4,222,744	4,909,187	▲686,443
	7 医療収入	72,774,917	69,408,123	3,366,794
	8 受取利息・配当金収入	1,249,562	1,308,044	▲58,482
	9 雑収入	2,340,434	1,973,238	367,196
	10 借入金等収入	0	0	0
	11 前受金収入	3,767,005	3,915,428	▲148,423
	12 その他の収入	24,415,737	25,415,297	▲999,560
	13 資金収入調整勘定	▲18,953,131	▲20,948,174	1,995,043
		[A] 当年度収入合計	115,662,212	117,660,520
	[B] 前年度繰越支払資金	27,000,000	27,000,000	0
	収入の部合計	142,662,212	144,660,520	▲1,998,308
支 出 の 部	1 人件費支出	48,589,705	48,728,226	▲138,521
	2 教育研究経費支出	48,920,304	46,512,462	2,407,842
	3 (医療経費支出)	(29,974,208)	(27,278,832)	(2,695,376)
	4 管理経費支出	3,853,545	3,363,978	489,567
	5 借入金等利息支出	84,564	94,564	▲10,000
	6 借入金等返済支出	555,550	555,550	0
	7 施設関係支出	9,852,648	7,641,049	2,211,599
	8 設備関係支出	3,184,410	2,867,213	317,197
	9 資産運用支出	21,592,620	8,086,891	13,505,729
	10 その他の支出	10,720,266	10,349,283	370,983
	11 予備費			0
	12 資金支出調整勘定	▲12,760,399	▲10,538,696	▲2,221,703
	[C] 当年度支出合計	134,593,212	117,660,520	16,932,692
	[D] 翌年度繰越支払資金	8,069,000	27,000,000	▲18,931,000
	支出の部合計	142,662,212	144,660,520	▲1,998,308

(注) 1. 決算額は千円未満四捨五入したものである。

2. 支出の部〔3 (医療経費支出)〕は、〔2 教育研究経費支出〕の内数である。

2) 活動区分資金収支決算の概要

活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の一部改正に伴い、2015年度から新たに作成が義務付けられた計算書です。これは、資金収支計算書をもとに、資金の流れを”教育活動”、”施設整備等活動”、”その他の活動”の三つに区分し、各活動における資金の流れを明確にすることを目的としたものです。

資金収支計算書について、活動別に区分すると、教育活動による資金収支では、35億円の収入超過となりました。一方、施設整備等活動による資金収支では、施設関係支出99億円、設備関係支出32億円などの設備投資を行い、収支差額は262億円の支出超過、教育活動・施設整備等活動を除くその他の活動による資金収支では、6億円の支出超過となりました。

(単位：千円)

科 目		2023年度決算額①	2022年度決算額②	増 減 (①-②)	
教育活動による資金収支	入	1 学生生徒等納付金収入	19,147,492	19,057,777	89,715
		2 手数料収入	505,329	516,108	▲10,779
		3 特別寄付金収入	630,852	593,585	37,267
		4 経常費等補助金収入	5,407,889	11,370,611	▲5,962,722
		5 付随事業収入	4,204,594	4,891,062	▲686,468
		6 医療収入	72,774,917	69,408,123	3,366,794
		7 雑収入	2,137,861	1,932,637	205,224
		教育活動資金収入計	104,808,933	107,769,903	▲2,960,970
	出	1 人件費支出	48,589,705	48,728,226	▲138,521
		2 教育研究経費支出	48,920,304	46,512,462	2,407,842
		3 (医療経費支出)	(29,974,208)	(27,278,832)	2,695,376
		4 管理経費支出	3,820,219	3,352,606	467,613
		教育活動資金支出計	101,330,229	98,593,294	2,736,935
		差 引	3,478,705	9,176,609	▲5,697,904
	調整勘定等	3,350,161	1,314,496	2,035,665	
	教育活動資金収支差額	6,828,865	10,491,105	▲3,662,240	
施設整備等活動による資金収支	科 目		2023年度決算額①	2022年度決算額②	増 減 (①-②)
	入	1 施設設備寄付金収入	0	1,500	▲1,500
		2 施設設備補助金収入	141,384	138,618	2,766
		3 施設設備売却収入	0	1,179	▲1,179
		4 第2号基本金引当特定資産取崩収入	898,945	5,289,984	▲4,391,039
		5 施設設備拡充引当特定資産取崩収入	5,883,168	1,240,310	4,642,858
		6 減価償却引当特定資産取崩収入	0	0	0
		施設整備等活動資金収入計	6,923,497	6,671,591	251,906
	出	1 施設関係支出	9,852,648	7,641,049	2,211,599
		2 設備関係支出	3,184,410	2,867,213	317,197
		3 減価償却引当特定資産繰入支出	20,106,709	6,851,100	13,255,609
		施設整備等活動資金支出計	33,143,767	17,359,362	15,784,405
		差 引	▲26,220,270	▲10,687,771	▲15,532,499
		調整勘定等	1,293,568	485,407	808,161
	施設整備等活動資金収支差額	▲24,926,702	▲10,202,364	▲14,724,338	
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	▲18,097,836	288,741	▲18,386,577	

科 目		2023年度決算額①	2022年度決算額②	増 減 (①-②)
その 他 の 活 動 に よ る 資 金 収 支	1 有 価 証 券 売 却 収 入	12,000	0	12,000
	2 教育研究振興引当特定資産取崩収入	0	75,063	▲75,063
	3 薬学部寄附講座引当特定資産取崩収入	13,275	13,558	▲283
	4 医学部寄附講座引当特定資産取崩収入	78,277	68,790	9,487
	5 獣医学部寄附講座引当特定資産からの繰入収入	759	9,241	▲8,482
	6 こまくさ給付奨学金引当特定資産取崩収入	2,200	1,800	400
	7 大村研・感染制御科学府運営事業引当特定資産取崩収入	10,000	0	10,000
	8 北里柴三郎記念室運営事業引当特定資産取崩収入	0	24,593	▲24,593
	9 貸 付 金 回 収 収 入	56,947	51,429	5,518
	10 預 り 金 受 入 収 入	0	93,289	▲93,289
	11 預 り 保 証 金 受 入 収 入	7,766	0	7,766
	12 立 替 金 回 収 収 入	110,694	93,782	16,912
	小 計	291,918	431,545	▲139,627
	13 受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	1,249,562	1,308,044	▲58,482
	14 収 益 事 業 収 入	18,150	18,125	25
	15 為 替 差 益	191,930	0	191,930
16 過 年 度 修 正 収 入	10,642	40,600	▲29,958	
その他の活動資金収入計	1,762,202	1,798,314	▲36,112	
支 出	1 借 入 金 等 返 済 支 出	555,550	555,550	0
	2 退職給与引当特定資産繰入支出	593,782	282,582	311,200
	3 教育研究振興引当特定資産繰入支出	22,742	0	22,742
	4 大村研・感染制御科学府運営事業引当特定資産繰入支出	0	14,593	▲14,593
	5 教育研究戦略資金引当特定資産繰入支出	427,682	0	427,682
	6 薬学部寄附講座引当特定資産繰入支出	13,500	15,000	▲1,500
	7 医学部寄附講座引当特定資産繰入支出	84,915	74,350	10,565
	8 獣医学部寄附講座引当特定資産繰入支出	0	10,000	▲10,000
	9 大村智記念研究所運営費引当特定資産繰入支出	15,869	11,532	4,337
	10 特 定 金 銭 信 託 調 整 支 出	327,421	827,733	▲500,312
	11 貸 付 金 支 払 支 出	47,793	41,168	6,625
	12 預 り 金 支 払 支 出	39,788	0	39,788
	13 立 替 金 支 払 支 出	112,290	134,564	▲22,274
	14 差 入 保 証 金 支 払 支 出	22,811	32	22,779
	小 計	2,264,143	1,967,104	297,039
	15 借 入 金 等 利 息 支 出	84,564	94,564	▲10,000
16 過 年 度 修 正 支 出	33,325	11,373	21,952	
その他の活動資金支出計	2,382,033	2,073,041	308,992	
差 引	▲619,831	▲274,727	▲345,104	
調 整 勘 定 等	▲213,333	▲14,014	▲199,319	
その他の活動資金収支差額	▲833,164	▲288,741	▲544,423	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	▲18,931,000	0	▲18,931,000	
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	27,000,000	27,000,000	0	
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	8,069,000	27,000,000	▲18,931,000	

(注) 1. 決算額は千円未満四捨五入したものである。

(3) 貸借対照表の概要

2023年度の資産の部合計 [A] は2,761億円、負債の部合計 [B] は438億円、資産から負債を差し引いた純資産 [C] は2,323億円となり、前年度と比較して39億円 [E] の減少となりました。

1) 貸借対照表 (法人総括)

(単位：千円)

資産の部			
科 目	2023年度末①	2022年度末②	増減 (①－②)
固 定 資 産	251,934,061	232,375,597	19,558,464
有 形 固 定 資 産	140,781,564	135,338,572	5,442,992
(土 地)	(23,345,664)	(23,345,664)	(0)
(建 物)	(84,657,006)	(82,153,924)	(2,503,082)
(構 築 物)	(3,532,265)	(3,491,481)	(40,784)
(教育研究用機器備品)	(9,791,214)	(9,025,687)	(765,527)
(管理用機器備品)	(2,233,085)	(2,253,630)	(▲20,545)
(図 書)	(7,079,766)	(7,619,604)	(▲539,838)
(車 輛)	(31,437)	(31,389)	(48)
(建設仮勘定)	(10,111,128)	(7,417,194)	(2,693,934)
特 定 資 産	109,513,473	95,134,898	14,378,575
(退職給与引当特定資産)	(21,411,319)	(20,817,537)	(593,782)
(施設設備拡充引当特定資産)	(5,477,065)	(11,360,233)	(▲5,883,168)
(減価償却引当特定資産)	(49,923,930)	(29,817,221)	(20,106,709)
(教育研究振興引当特定資産)	(414,574)	(391,832)	(22,742)
(こまき給付奨学金引当特定資産)	(16,800)	(19,000)	(▲2,200)
(大村智記念研究所運営費引当特定資産)	(1,611,093)	(1,595,224)	(15,869)
(医学部寄附講座引当特定資産)	(90,165)	(83,527)	(6,638)
(薬学部寄附講座引当特定資産)	(8,097)	(7,872)	(225)
(獣医学部寄附講座引当特定資産)	(0)	(759)	(▲759)
(教育研究戦略資金引当特定資産)	(18,440,343)	(18,012,661)	(427,682)
(大村研・感染制御科学府運営事業引当特定資産)	(40,000)	(50,000)	(▲10,000)
(北里柴三郎記念博物館運営事業引当特定資産)	(369,580)	(369,580)	(0)
(第2号基本金引当特定資産)	(0)	(898,945)	(▲898,945)
(第3号基本金引当特定資産)	(11,710,506)	(11,710,506)	(0)
そ の 他 の 固 定 資 産	1,639,024	1,902,126	▲263,102
(施設利用権)	(3,894)	(6,284)	(▲2,390)
(ソフトウェア)	(208,628)	(467,886)	(▲259,258)
(有 価 証 券)	(100,575)	(104,575)	(▲4,000)
(収益事業元入金)	(999,898)	(999,898)	(0)
(長期貸付金)	(302,428)	(322,695)	(▲20,267)
(差入保証金)	(23,601)	(789)	(22,812)
流 動 資 産	24,171,762	45,537,452	▲21,365,690
(現金預金)	(8,069,000)	(27,000,000)	(▲18,931,000)
(未収入金)	(14,764,467)	(17,228,492)	(▲2,464,025)
(貯 蔵 品)	(692,464)	(660,904)	(31,560)
(短期貸付金)	(77,184)	(65,970)	(11,214)
(そ の 他)	(568,648)	(582,086)	(▲13,438)
資産の部合計 [A]	276,105,823	277,913,049	▲1,807,226

負債の部			
科 目	2023年度末①	2022年度末②	増減(①-②)
固 定 負 債	25,327,910	25,284,326	43,584
(長 期 借 入 金)	(3,888,850)	(4,444,400)	(▲555,550)
(長 期 未 払 金)	(3,609)	(6,023)	(▲2,414)
(退 職 給 与 引 当 金)	(21,411,319)	(20,817,537)	(593,782)
(預 り 保 証 金)	(24,132)	(16,366)	(7,766)
流 動 負 債	18,492,639	16,447,237	2,045,402
(短 期 借 入 金)	(555,550)	(555,550)	(0)
(未 払 金)	(12,756,348)	(10,482,282)	(2,274,066)
(前 受 金)	(3,769,971)	(3,934,978)	(▲165,007)
(預 り 金)	(993,143)	(1,032,931)	(▲39,788)
(収 益 事 業 預 り 金)	(417,626)	(441,496)	(▲23,870)
負債の部合計 [B]	43,820,549	41,731,563	2,088,986
純資産の部			
科 目	2023年度末①	2022年度末②	増減(①-②)
基 本 金	264,415,011	254,350,754	10,064,257
(第 1 号 基 本 金)	(244,635,505)	(235,098,302)	(9,537,203)
(第 2 号 基 本 金)	(0)	(898,945)	(▲898,945)
(第 3 号 基 本 金)	(11,710,506)	(11,710,506)	(0)
(第 4 号 基 本 金)	(8,069,000)	(6,643,000)	(1,426,000)
繰 越 収 支 差 額	▲32,129,737	▲18,169,268	▲13,960,469
(翌年度繰越収支差額)	▲32,129,737	▲18,169,268	▲13,960,469
純資産の部合計 [C]	232,285,275	236,181,486	[E] ▲3,896,211
負債及び純資産の部合計[D]=[B]+[C]	276,105,823	277,913,049	▲1,807,226

(注) 1. 資産・負債等の残高は千円未満四捨五入したものである。

各科目の主な内容は次のとおりです。

【資産の部】

1) 有形固定資産

主に建物において、未来工学部校舎建設工事および看護学部校舎建替え工事による増加などにより、有形固定資産総額は1,408億円となりました。

2) 特定資産

施設設備拡充引当特定資産が59億円減少、減価償却引当特定資産が201億円増加、第2号基本金引当特定資産が9億円減少、退職給与引当特定資産が6億円増加などにより、全体で144億円増加し、特定資産総額は1,095億円となりました。

3) その他の固定資産

主にソフトウェアにおいて、除却による3億円減少などにより、その他の固定資産総額は16億円となりました。

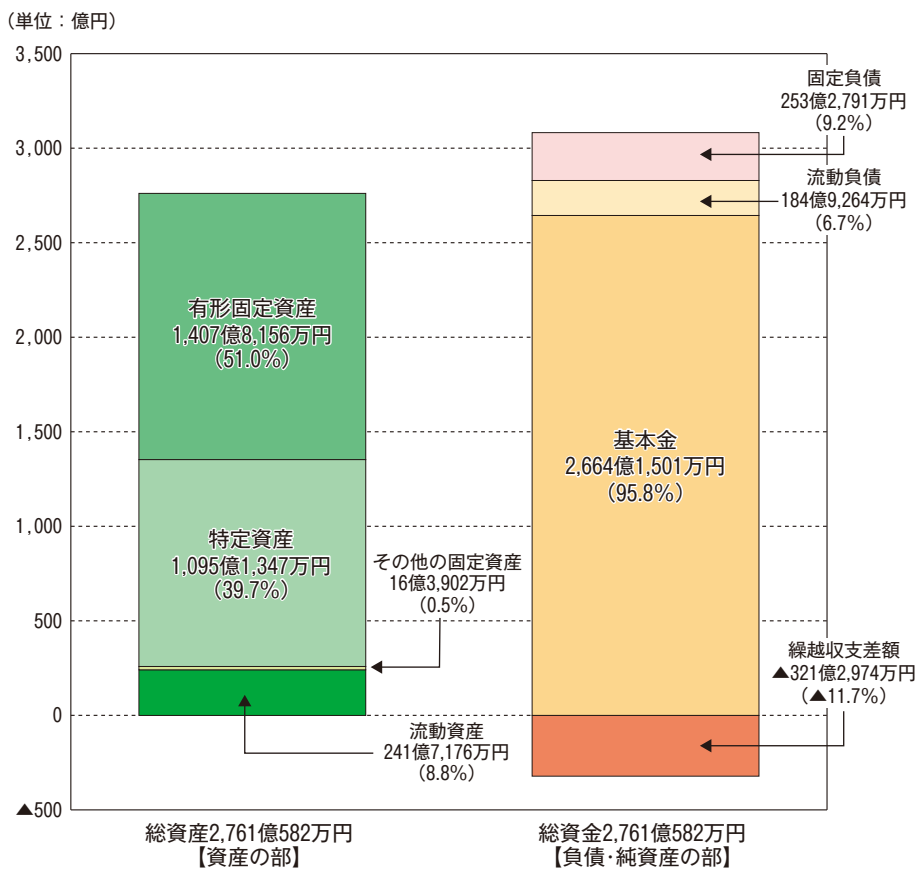
【負債の部】

長期借入金が6億円減少、退職給与引当金が6億円増加などにより固定負債はほぼ増減なし、未払金が23億円増加などにより流動負債が20億円増加、全体で21億円増加し、負債の部合計は438億円となりました。

【純資産の部】

第1号基本金への組入れが95億円増加、第2号基本金からの取崩しが9億円減少、第4号基本金への組入れが14億円増加、翌年度繰越収支差額が140億円減少などにより、全体で39億円減少し、純資産の部合計は2,323億円となりました。

2) 貸借対照表の構成 (2024年3月31日現在)



(4) 収益事業会計の概要

収益事業部門は、不動産賃貸業を営んでおり、利益として計上された1,815万円を学校会計へ繰入れました。

1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	2023年度決算額①	2022年度決算額②	増減(①-②)	比率(①/②%)
不動産賃貸収入(売上高)	24,120	24,120	0	100.0%
不動産賃貸原価(売上原価)	5,970	5,995	▲25	99.6%
営業利益	18,150	18,125	25	100.1%
経常利益	18,150	18,125	25	100.1%
学校会計繰入前当期純利益	18,150	18,125	25	100.1%
学校会計繰入支出	18,150	18,125	25	—
税引前当期純利益	0	0	0	—
当期純利益	0	0	0	—

2) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	2023年度決算額①	2022年度決算額②	増減(①-②)	比率(①/②%)
流 動 資 産	417,626	441,496	▲23,870	94.6%
(学 校 会 計 勘 定)	417,626	441,496	▲23,870	94.6%
固 定 資 産	1,001,558	1,001,808	▲250	100.0%
有 形 固 定 資 産	1,001,558	1,001,808	▲250	100.0%
(土 地)	999,898	999,898	0	100.0%
(構 築 物)	4,148	4,148	0	100.0%
(減 価 償 却 累 計 額)	▲2,488	▲2,238	▲250	111.2%
資 産 合 計	1,419,184	1,443,304	▲24,120	98.3%
流 動 負 債	419,286	443,406	▲24,120	94.6%
(前 受 金)	419,286	443,406	▲24,120	—
負 債 合 計	419,286	443,406	▲24,120	94.6%
(元 入 金)	999,898	999,898	0	100.0%
純 資 産 合 計	999,898	999,898	0	100.0%
負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,419,184	1,443,304	▲24,120	98.3%

監 査 報 告 書

2024年5月14日

学校法人 北里研究所
理事会御中
評議員会御中

監事 菅原 淳子

監事 浦部 明子

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人北里研究所寄附行為第19条の規定に基づき、学校法人北里研究所の2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の業務及び財産の状況ならびに理事の業務執行の状況について監査いたしました。

1. 監査の方法の概要

私たちは、監査にあたり、理事会、評議員会、常任理事会など法人を運営する重要な会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表等並びに財産目録について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施いたしました。

2. 監査の結果

監査の結果、学校法人北里研究所の業務に関する決定及び執行は適正であり、計算書類は財産の状況を正しく示しており、業務及び財産並びに理事の業務執行の状況に関し、不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以 上

2024年 各種国家試験結果

学部・併設校	受験者数	合格者数	合格率	全国平均	
薬剤師					
薬学部	新	260	227	87.3%	84.4%
	既	47	34	72.3%	42.4%
	他	3	2	66.7%	43.9%
	計	310	263	84.8%	68.4%
獣医師					
獣医学部 獣医学科	新	108	96	88.9%	84.4%
	既	7	3	42.9%	39.4%
	計	115	99	86.1%	72.7%
医師					
医学部	新	114	112	98.2%	95.4%
	既	6	4	66.7%	55.9%
	計	120	116	96.7%	92.4%
保健師					
看護学部	新	49	49	100.0%	〔新〕 97.7%
	既	3	3	100.0%	
	計	52	52	100.0%	
保健衛生専門学院 保健看護科	新	57	46	80.7%	58.3%
	既	3	1	33.3%	
	計	60	47	78.3%	
助産師					
看護学部	新	3	3	100.0%	99.3%
	既	0	0	—%	86.4%
	計	3	3	100.0%	98.8%
看護師					
看護学部	新	144	140	97.2%	〔新〕 93.2%
	既	0	0	—%	
	計	144	140	97.2%	
保健衛生専門学院 保健看護科	新	57	52	91.2%	〔既〕 30.4%
	既	1	1	100.0%	
	計	58	53	91.4%	
北本看護専門学校 看護学科	新	40	35	87.5%	〔計〕 87.8%
	既	5	2	40.0%	
	計	45	37	82.2%	
臨床検査技師					
薬学部	新	15	11	73.3%	〔新〕 88.0%
	既	6	3	50.0%	
	計	21	14	66.7%	
医療衛生学部 医療検査学科	新	104	100	96.2%	〔既〕 26.3%
	既	4	2	50.0%	
	計	108	102	94.4%	
保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科	新	56	41	73.2%	〔計〕 76.8%
	既	11	1	9.1%	
	計	67	42	62.7%	

学部・併設校	受験者数	合格者数	合格率	全国平均	
理学療法士					
医療衛生学部 理学療法専攻	新	49	49	100.0%	95.3%
	既	0	0	—%	33.8%
	計	49	49	100.0%	89.3%
作業療法士					
医療衛生学部 作業療法専攻	新	43	41	95.3%	91.6%
	既	7	5	71.4%	33.9%
	計	50	46	92.0%	84.4%
言語聴覚士					
医療衛生学部 言語聴覚療法専攻	新	25	25	100.0%	87.3%
	既	1	0	0.0%	32.8%
	計	26	25	96.2%	72.4%
視能訓練士					
医療衛生学部 視覚機能療法専攻	新	29	29	100.0%	97.8%
	既	1	1	100.0%	66.7%
	計	30	30	100.0%	95.2%
臨床工学技士					
医療衛生学部 臨床工学専攻	新	46	45	97.8%	〔新〕 87.9%
	既	0	0	—%	
	計	46	45	97.8%	
保健衛生専門学院 臨床工学専攻科	新	16	14	87.5%	〔既〕 16.4%
	既	0	0	—%	
	計	16	14	87.5%	
診療放射線技師					
医療衛生学部 診療放射線技術科学専攻	新	72	69	95.8%	86.3%
	既	8	2	25.0%	18.8%
	計	80	71	88.8%	79.5%
管理栄養士					
保健衛生専門学院 管理栄養科	新	23	15	65.2%	80.4%
	既	0	0	—%	10.3%
	計	23	15	65.2%	49.3%

注：①「新」は新卒者（年度途中卒業者を含む）、「既」は既卒者を表す。
 ②「既」は既卒者の中で一括受験申請をした者等、大学にて把握可能となっている人数を計上。
 ③薬剤師（他）は、旧4年制卒業生・受験資格認定者を表す。
 ④管理栄養士（既卒）の全国平均は、栄養士養成課程（既卒）を含む。

(2024年 3月31日現在)

会議結果報告

※「学校法人北里研究所報」には、原則として理事会の承認事項を掲載します。
 ※各規程の全文は、「教職員専用サイト諸規程」に収録します。
 ※人事は、「公示」により公表します。

《5月理事会承認》

評議員（第6号）の交代

《現任者》

大内 孝文

《後任者》

小山田敏文

任期：2024年4月1日～2024年5月31日

※前任者の残任期間

次期学長の選任

〔学長〕

砂塚 敏明（大村智記念研究所教授・感染制御科学府専任教授）

任期：2024年7月1日～2028年6月30日

次期学部長の任用

〔薬学部長〕

田辺 光男（薬学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔獣医学部長〕

岡野 昇三（獣医学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔医学部長〕

小川 元之（医学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔海洋生命科学部長〕

天野 勝文（海洋生命科学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔看護学部長〕

香取 洋子（看護学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔理学部長〕

川崎 健夫（理学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔医療衛生学部長〕

市川 尊文（医療衛生学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔未来工学部長〕

岡 浩太郎（未来工学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔健康科学部長〕

三藤 久（健康科学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

次期研究科長等の任用

〔薬学研究科長〕

田辺 光男（薬学研究科専任教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔獣医学系研究科長〕

岡野 昇三（獣医学系研究科専任教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔海洋生命科学研究科長〕

天野 勝文（海洋生命科学研究科専任教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔看護学研究科長〕

香取 洋子（看護学研究科専任教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔理学研究科長〕

川崎 健夫（理学研究科専任教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔未来工学研究科長〕

岡 浩太郎（未来工学研究科専任教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔医療系研究科長〕

比企 直樹（医療系研究科専任教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔感染制御科学府長〕

阿部 章夫（感染制御科学府専任教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

次期一般教育部長の任用

〔一般教育部長〕

伊藤 真吾（一般教育部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

次期北里大学図書館長の任用

〔北里大学図書館長〕

堺 隆一（医学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年3月31日

次期大村智記念研究所長の任用

〔大村智記念研究所長〕

阿部 章夫（大村智記念研究所教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

次期病院長の任用

〔北里大学病院長〕

山岡 邦宏（医学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔北里研究所病院長〕

金子 博徳（北里研究所病院部長）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

〔北里大学メディカルセンター病院長〕

阿古 潤哉（医学部教授）

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

次期北里大学看護専門学校長の任用

〔北里大学看護専門学校長〕

阿古 潤哉【次期北里大学メディカルセンター病院長】

任期：2024年7月1日～2026年6月30日

第1号理事（学長）の選任

〔第1号理事〕

砂塚 敏明（学長）

任期：2024年7月1日～2028年6月30日

第2号理事（学部長及び大村智記念研究所長）の選任

〔第2号理事〕

田辺 光男（薬学部長）

岡野 昇三（獣医学部長）

小川 元之（医学部長）

天野 勝文（海洋生命科学部長）

香取 洋子（看護学部長）

川崎 健夫（理学部長）

市川 尊文（医療衛生学部長）

岡 浩太郎（未来工学部長）

三藤 久（健康科学部長）

阿部 章夫（大村智記念研究所長・感染制御科学府長）

任期：2024年7月1日～2028年6月30日

第3号理事（病院長）の選任

〔第3号理事〕

山岡 邦宏（北里大学病院長）

金子 博徳（北里研究所病院長）

阿古 潤哉（北里大学メディカルセンター病院長）

任期：2024年7月1日～2028年6月30日

第2号評議員（学長）の選任

〔第2号評議員〕

砂塚 敏明（学長）

任期：2024年7月1日～2028年5月31日

第3号評議員（学校長）の選任

〔第3号評議員〕

渡辺しき子（北里大学保健衛生専門学院長）

任期：2024年6月1日～2028年5月31日

阿古 潤哉（北里大学看護専門学校長）

任期：2024年7月1日～2028年5月31日

第4号評議員（教授会）の選任

〔第4号評議員〕

薬学部：

長光 亨 尾鳥 勝也 藤井 秀明

獣医学部：

山脇 英之 向井 孝夫 進藤 順治

医学部

〔基礎医学系〕：

天野 英樹 小川 元之 三枝 信

〔臨床医学系〕：

浅利 靖 天羽 康之 比企 直樹

海洋生命科学部：

朝日田 卓 天野 勝文 神保 充

看護学部：

久保 五月 香取 洋子 眞茅みゆき

理学部：

三森 康義 石川 春樹 江島 耕二

医療衛生学部：

石川 均 石橋 仁 福田 倫也

未来工学部：

渡邊 豪 河野 信 鳥津 秀康

健康科学部：

小山友里江 小丸 圭一 金子 博司

一般教育部：

和田 浩則 伊藤 真吾 北川 淳

大村研・学府：

浅見 行弘 廣瀬 友靖 岩月 正人

任期：2024年6月1日～2028年5月31日

第5号評議員（職員）の選任

〔第5号評議員〕

堺 隆一（大学図書館長）

高相 晶士（北里大学病院長）

山下 拓（北里大学病院副院長 [診療担当]）

石倉 健司（北里大学病院副院長 [教育・研究・倫理担当]）

別府 千恵（北里大学病院副院長 [患者支援・チーム医療・男女共同参画担当]）

中野 雅（北里研究所病院副院長、消化器内科部長）

金子 博徳（北里研究所病院副院長、整形外科部長）

藤田 哲夫（北里大学メディカルセンター副院長 [危機管理・医療安全担当]）

吉田 秀美（北里大学メディカルセンター副院長 [診療・患者支援P F M担当]）

原田 毅（事務本部長）

石井 孝昭（人事部部長）

山森 全（ICT推進センター事務室事務長）

平本 照雄（北里大学病院事務部事務部長）

永田 義裕（北里研究所病院事務部事務部長）

寺本 純生（白金キャンパス大学事務室事務長）

鈴木 幹也（相模原キャンパス大学共通事務室事務長）

飯淵 哲（健康科学部事務室事務長/保健衛生専門学院事務室事務長）

松尾由紀子（北里大学医学部係長 [教育系技術職]）

池田 和政（管財部課長 [施設系技術職]）

任期：2024年6月1日～2028年5月31日

※所属・職位は2024年5月1日時点

※原田事務本部長：事務本部長の任期制に基づき、任期満了となる2024年6月30日までは現任者とし、2024年7月1日以降は、新理事長の指名による次期事務本部長をもって充てる。

第6号評議員（卒業生）の選任

〔第6号評議員〕

千葉 貴子（次期同窓会会長候補者）

吉川 智明（次期同窓会副会長候補者）

池本 尚（次期同窓会副会長候補者）

岡田 寛紀（次期同窓会副会長候補者）

甲斐 恒人（理学部同窓会推薦）

小林 隆幸（医療衛生学部同窓会推薦）

成松 由紹 (薬学部同窓会推薦)
 小山田敏文 (獣医学部同窓会推薦)
 高平 尚伸 (医学部同窓会推薦)
 高橋 明義 (海洋生命科学部同窓会推薦)
 小山 達也 (看護学部同窓会推薦)
 新井 陽子 (その他の卒業生 [北里大学及び諸学校の卒業生])
 任期：2024年6月1日～2028年5月31日

第7号評議員 (父母) の選任

[第7号評議員]
 山上 信彦 (2024年度P P A会長予定者)
 和佐原征一郎 (2024年度P P A総務担当副会長予定者)
 関 敏秀 (元P P A会長)
 寺尾 博 (元P P A会長)
 吉田 文夫 (元P P A会長)
 秋元 清次 (元P P A副会長)
 任期：2024年6月1日～2028年5月31日

2024年度事業計画の追加

■北里大学病院
 [取組課題]
 超電導磁石式全身用MR装置の更新【1年計画1年目】
 [追加理由・計画概要]
 当該機器は2006年に導入し2025年度末にはメーカーによる保守サポートが終了となり、装置更新が必須である。この度、文部科学省による「令和5年度大学改革推進等補助金 高度医療人材養成事業」として補助金交付が決定となったため、当該補助金を活用し、更新整備を行う。

北里大学メディカルセンターの組織変更及び設置規程の改正

[改正理由]
 2024年1月に「頭蓋底外科専門外来」を開設したが、地域医療機関への集患活動により、当該疾患患者の紹介件数が徐々に増加していることから、組織上センターとして位置付け、関係各科の協力体制の強化を図る。
 [組織変更内容]
 診療部門に「脳腫瘍・頭蓋底外科センター」を設置する。
 [設置規程の改正概要]
 (診療業務)
 第21条 (追加) 「脳腫瘍・頭蓋底外科センター」を追加する。
 附 則 (追加) この規程は、2024年6月1日から施行する。
 [改正日]
 2024年5月17日
 [施行日]
 2024年6月1日

人事

[大学教育職の昇任]
 鎌田 亮 (獣医学部教授・獣医学系研究科専任教授)
 准教授から教授へ
 任期：2020年4月1日～2025年3月31日 (2024年6月1日付)
 川北 哲也 (医学部教授)
 准教授から教授へ
 任期：2024年6月1日～2029年3月31日 (2024年6月1日付)
 松本 和将 (医学部教授)
 准教授から教授へ
 任期：2024年6月1日～2029年3月31日 (2024年6月1日付)

大村智記念研究所寄附講座「花王環境衛生科学講座(花王)」の設置期間の更新

[寄附講座名]
 大村智記念研究所寄附講座「花王環境衛生科学講座(花王)」
 [趣旨・目的]
 環境衛生の視点から実学に還元しうる知見を獲得し、公共の福祉に貢献する。
 [体制]
 設置責任者 所長 砂塚 敏明
 講座責任者 教授 片山 和彦
 講座研究者 特任教授 永井 智
 他、花王株式会社社員2名
 共同研究者 講師 芳賀 慧
 助手 戸高 玲子

[設置期間]
 (更新) 2024年4月1日～2026年3月31日 (2年間)
 [寄附金額]
 30,000,000円 (15,000,000円/年)

2024年度資産運用計画の概要

- 1) 資産運用の上限額：900億円
- 2) 資産運用の目標収益額：6億円 (財務会計ベース)

《5月学部長会了承》

北里大学教職課程センター構成員の交代

[構成員の変更] ※任期は前任者の残任期間
 旧構成員：宮崎 秀一 (獣医学部教授/嘱託)
 山本 明利 (理学部教授/嘱託)
 →新構成員：坂本 徹 (獣医学部教授/嘱託)
 加藤 裕之 (理学部教授/嘱託)
 任期：2024年4月1日～2024年6月30日

教学系各種委員会委員の交代等

○北里大学遺伝子組換え実験安全委員会

〔委員長の選出〕 ※任期は前任者の残任期間

委員長 奥脇 暢 (薬学部教授)

任期：2024年4月1日～2026年3月31日

○北里研究所化学物質等管理委員会

〔委員の交代〕

旧委員 真崎 康博 (安全衛生管理委員会相模原キャンパス委員長)

上野 俊治 (獣医学部教授)

三枝 信 (北里大学病院病理部部长)

→新委員 松谷 伸二 (安全衛生管理委員会相模原キャンパス委員長)

鎌田 亮 (獣医学部准教授)

村雲 芳樹 (北里大学病院病理部部长)

任期：2024年4月1日～ ※任期の定めなし

○北里大学教職課程センター運営委員会

〔委員の交代〕 ※任期は前任者の残任期間

旧委員 宮崎 秀一 (獣医学部教授/嘱託)

山本 明利 (理学部教授/嘱託)

→新委員 坂本 徹 (獣医学部教授/嘱託)

加藤 祐之 (理学部教授/嘱託)

任期：2024年4月1日～2024年6月30日

○北里大学就職委員会

〔委員の交代〕 ※任期は前任者の残任期間

旧委員：寺林 智也 (未来工学部事務室主任)

→新委員：小島みのり (未来工学部事務室主任)

任期：2024年4月1日～2024年6月30日

受賞

BCAOアワード2023優秀実践賞 受賞

学校法人北里研究所



学校法人北里研究所が、大規模組織かつ学生の意識の意識変革を狙うBCP・BCMの普及・啓発の実践的な取り組みが評価され、特定非営利活動法人事業継続推進機構が表彰する「BCAOアワード2023」優秀実践賞を受賞しました。

(2024年5月27日付)

博物館に相当する施設の指定



北里柴三郎記念博物館が、2023年4月に施行された「博物館法の一部を改正する法律」の規定に基づき登録申請をおこない、2024年3月25日付けで、博物館登録制度における博物館に相当する施設(指定施設)として指定を受け、登録博物館等マークのプレート及び証書が文化庁から付与されました。

イベント

詳細につきましては、Webサイトでご確認ください。

2024年度第1回北里大学薬学部生涯学習オンラインセミナー



日時：6月1日(土) 14:00～15:00

開催方法：Zoomによるオンライン開催

演題：症状による漢方薬の使い方

講師：緒方 千秋 (北里研究所病院漢方鍼灸治療センター)

問合せ：薬学部生涯学習セミナー事務局 (白金キャンパス 大学事務室)

〔電話〕 03-5791-6485

〔メール〕 kup-sgsg@kitasato-u.ac.jp

関連URL：<https://www.kitasato-u.ac.jp/pharm/visitor/obog/yakuyu/>

第37回北里大学バイオサイエンスフォーラム

日 時：8月22日(木) 9:00~15:55

8月23日(金) 9:00~15:25

場 所：白金キャンパス 大村智記念ホール／1号館1202・1203

内 容：大学院生・若手研究者を中心とした研究発表、情報交換と共同研究の推進

問合せ：白金キャンパス大学事務室総務課

〔電話〕03-3444-6191

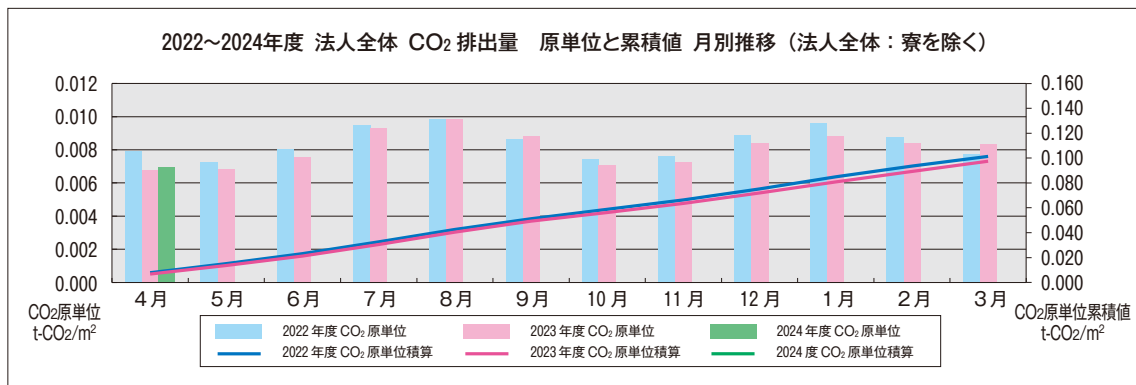
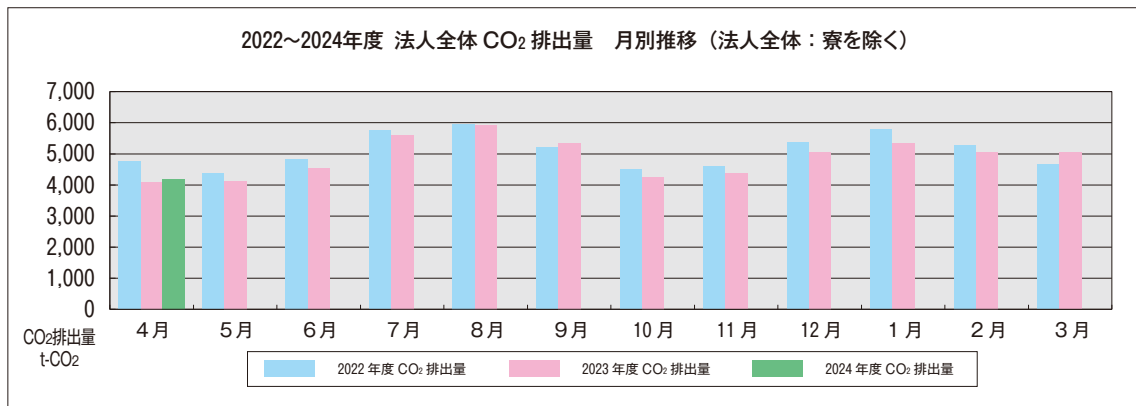
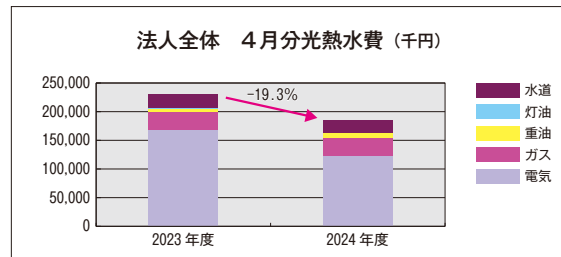
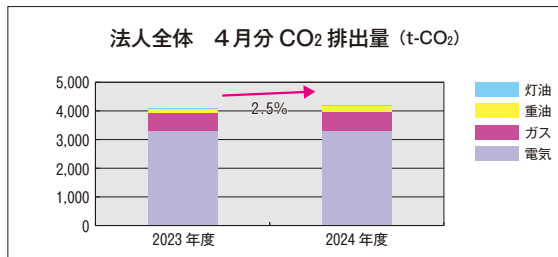
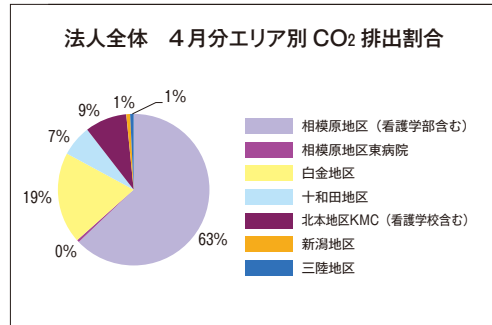
関連URL：<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/form/bioscience2024/index.html>

CO₂ 排出量と光熱水費

地球温暖化対策の推進は、より良い地球環境維持・推進に向けて社会全体に課せられた使命であります。また、これらの推進に伴う、光熱水費の削減は、法人全体として経費削減に向けた大きな取組みの一環としております。各地区別等のCO₂排出量及び光熱水費を報告します。職員個々におかれては、省エネを推進し地球温暖化防止及び光熱水費等の削減に向け、継続した行動・推進をお願いします。

法人全体（寮を除く）

項目 単位	2023年度 4月分		2024年度 4月分		前年度比	
	排出量 t-CO ₂	金額 千円	排出量 t-CO ₂	金額 千円	排出量 t-CO ₂	金額 千円
電気	3,308	168,725	3,308	123,558	0	▲45,167
ガス	622	31,401	676	32,379	54	978
重油	146	5,057	190	6,875	44	1,818
灯油	17	755	20	904	3	149
水道		24,076		21,952		▲2,124
計	4,093	230,014	4,194	185,668	101	▲44,346



行事予定表

(2024年 7月・8月・9月)

7 月			14 水		(12日～16日 法人本部・教学本部・大学・併設校)
			15 木		
1	月	臨時理事会 (10:00 白金)	16 金	↓	
2	火		17 土		
3	水	部長会 (10:00)	18 日		
4	木	常任理事会 (10:00)	19 月		
5	金	大学院委員会 (14:00)・学部長会 (14:20)	20 火		
6	土	臨時評議員会 (10:00 白金)	21 水		
		臨時理事会 (臨時評議員会終了後 白金)	22 木		
		評議員会運営委員会 (臨時理事会終了後 白金)	23 金		
		P P A新旧役員懇談会	24 土		
7	日		25 日		第3回オープンキャンパス (相模原)
8	月		26 月		
9	火		27 火		
10	水	部長会 (10:00)	28 水		部長会 (10:00)
11	木	常任理事会 (10:00)	29 木		常任理事会 (開催の場合は10:30)
12	金		30 金		
13	土		31 土		
14	日		9 月		
15	月	(海の日)			
16	火		1 日		
17	水	部長会 (10:00)	2 月		
18	木	常任理事会 (10:00)	3 火		
19	金	定例理事会 (14:00)	4 水		部長会 (10:00)
20	土		5 木		常任理事会 (10:00)
21	日	110×60周年記念式典	6 金		臨時理事会 (13:00) 大学院委員会 (14:00)・学部長会 (14:20)
22	月		7 土		
23	火		8 日		
24	水	部長会 (10:00)	9 月		
25	木	常任理事会 (10:00)	10 火		
26	金	事務部長・事務長会 (14:00)	11 水		部長会 (10:00)
27	土		12 木		常任理事会 (10:00)
28	日	P P A地区懇談会 (大阪)	13 金		
29	月		14 土		
30	火		15 日		
31	水	部長会 (10:00)	16 月		(敬老の日)
8 月			17 火		
1	木	常任理事会 (10:00)	18 水		部長会 (10:00)
2	金		19 木		常任理事会 (10:00)
3	土	第2回オープンキャンパス (相模原) (~4日)	20 金		定例理事会 (14:00)
4	日		21 土		
5	月		22 日		(秋分の日)
6	火		23 月		(振替休日)
7	水		24 火		
8	木		25 水		部長会 (10:00)
9	金		26 木		常任理事会 (10:00)
10	土		27 金		事務部長・事務長会 (14:00)
11	日	(山の日)	28 土		
12	月	↑ (振替休日)	29 日		
13	火	夏期特別休暇	30 月		